好みのはんこ 夢中で手作り

きょうまでワークショップ

東京の大学生や社会人でつくるものづくりグループ「NANAKOU（ななこう）」は11日、塩尻市えんぱーくで、「文字で模様を描くハンコのワークショップ」を開いた。アラビア文字と漆のインクという二つの文化を融合させ、物作りの楽しさを味わった。

小学生を中心に10人が参加し、東京芸術大学大学院博士課程でグラフィックデザインを研究しているレバノンの留学生、カーラ・サレムさんが講師役を務めた。

サレムさんは、アラビア語で自分の好きな形に切ったゴム版に、アニシャルなどを彫り、漆のインクを付けて和紙にプリントした。

片丘小学校3年の中野雅大君(9)は「ちょっと失敗したところもあったけれど、楽しい」と話し、文字を彫る作業に夢中になって取り組んでいた。

ワークショップは12日も午後1時半から開かれ、漆塗りのおわんに、自作のゴム版はんこで絵を付ける。（宮沢一）

スタッフと一緒にはんこ製作を楽しむ子供